

大正七年八月

機關部戰時日誌

第二驅逐隊復

0376

イ

驅逐艦機行動表

任 務	拔 錨 月日	護 着 地 名	板 速 月日	原 速 節	運 轉 時 數 時分	主機燃料消費量		航 程 海里	行動用燃料			燃料(噸)		行動用油(噸)			補 給 水 量 噸	平 均 吃 水 呎	備 考																								
						左 舷	右 舷		運 轉 用	航 路 燃料 及 補 給 燃料	航 路 燃料 及 補 給 燃料	航 路 燃料 及 補 給 燃料	航 路 燃料 及 補 給 燃料	航 路 燃料 及 補 給 燃料	航 路 燃料 及 補 給 燃料	航 路 燃料 及 補 給 燃料				航 路 燃料 及 補 給 燃料	航 路 燃料 及 補 給 燃料	航 路 燃料 及 補 給 燃料	航 路 燃料 及 補 給 燃料	航 路 燃料 及 補 給 燃料	航 路 燃料 及 補 給 燃料																		
																										石 炭	重 油	合 計	石 炭	重 油	合 計	石 炭	重 油	合 計	石 炭	重 油	合 計	石 炭	重 油	合 計	石 炭	重 油	合 計
回航	8-17	大湊	8-17	12	51-55	68/370	702/330	577.8	92.4	0	92.4	5.9	1.6	0	8.5	112	8	120	12.7	9-8 $\frac{1}{2}$																							
全上	8-19	同艦隊中口着所	8-21	14	51-20	84/1850	836/850	699.4	100.0	13.5	123.5	5.9	2.0	0	11.0	162	8	170	27.0	同艦隊中口着所蘇門答臘 付乗乗給与不																							
全上	8-22	同艦隊中口着所	8-22	10	10-7	129/410	131/340	108.6	18.0	0	18.0	6.0	3.0	0	2.5	36	2	38	4.1	9-9 $\frac{1}{2}$																							
鋪地変更	8-24	同上	8-24	10	1-20	2800	2990	2.4	1.0	0	1.0	2.4	0.5	0	0.5	15	2	17	1.5																								
回航	8-25	同艦隊中口着所	8-25	11	10-14	1180/80	1190/20	98.8	21.5	0	21.5	4.6	2.0	0	2.0	36	2	38	4.4	9-7 $\frac{1}{2}$																							
全上	8-26	同艦隊中口着所	8-26	12	1-58	254/30	250/30	21.0	3.0	0	3.0	7.0	2.0	0	1.0	18	2	20	2.2	9-9 $\frac{3}{4}$																							
全上	8-27	同艦隊中口着所	8-27	12	14-35	150/780	150/780	126.3	27.8	0	27.8	4.5	2.2	0	2.0	36	4	40	7.3	9-8 $\frac{1}{4}$																							
合計					141-29	1354/220	1368/40	1634.3	268.7	13.5	271.7		13.3	0	27.5	413	28	441	64.2																								
累計					141-29	1354/220	1368/40	1634.3	268.7	13.5	271.7		13.3	0	27.5	413	28	441	64.2																								

0377

記事ナレ	年月日	口、駆逐艦榎故障欠損報告				(機、械、罐、補、機、船、体、部)
	故障欠損ノ何處	故障欠損ノ原因	故障欠損ノ程度	最近検査ノ行方状況年月日	處置ノ概要	
					竣工、復旧ノ要ニシ時間	

0378

ハ炭水及行動需品補充状況

行動用需品燃料

接収月日	種類	数量	搭載地	供給船	搭載要 求時間	従業 人員	所見
八一九	二種 煉炭	一二〇	大湊	大湊要 港部	四〇	六六	三三艘・二八艘・二五艘・二四艘。他、 加賀各一、度より手送り搭載ナ
八一二一	全右	九〇	間宮海 岬南口	阿蘇 軍艦	三〇	六六	軍艦所載・横付取入場所より手 送り搭載ス（実量）一〇・七ト下不足ナリ
八一二五	全右	五五	全右	全右	二〇	六三	軍艦所載・横付取入場所より手 送り搭載ス（実量）一・二ト下不足ナリ
八一三一	全右	三〇	ニコライ エフスク	敷設艇 黒神丸	一・三〇	五九	敷設艇黒神丸より手送り搭載ス（実量）八・〇ト下不足ナリ

平常用需品

補充セズ

罐水

補充セズ

飲料水雑用水

後載目	種類	数量	搭載地	供給源	搭載要 要	後 員	所見
八一九	飲料水 雑用水	四	大湊	大湊 港	一!	四	
水船整備ノ手 部等荷ノリ 外搬 兵員ニテ取入ル							

西村納

西村 納

0380

礎
洵
配
置

0381

水雷戦隊警戒航行中機関操作方			
人員、配置	特ニ設備セル者	特ニ施行セル機関操作方	
操縦員 二名		能取機械、軸系、伝動機、水器、組立	
傳令 一名	ナシ		
注油 一名又ハ二名			
機部			
燃料 一箱使 同、二箱使	使用室、消火器	(1) 必要ニ應ジ自ラ環境ニ身ハ 準備スル	
汽機 一	一、燃料室、噴霧機、行	(2) 噴霧機、小直、大、傳、機	
焚火 四	下、八、消火器、用、器、氣	噴霧機、常ニ、準備、置、ス	
次直員ハ特令ニヨリ、準備、為、 急火ニ從事ス	管、口、準備、ス		
機部			
燃料 一箱使 同、二箱使	使用室、消火器	(1) 必要ニ應ジ自ラ環境ニ身ハ 準備スル	
汽機 一	一、燃料室、噴霧機、行	(2) 噴霧機、小直、大、傳、機	
焚火 四	下、八、消火器、用、器、氣	噴霧機、常ニ、準備、置、ス	
次直員ハ特令ニヨリ、準備、為、 急火ニ從事ス	管、口、準備、ス		
補助機部			
燃料 一箱使 同、二箱使	使用室、消火器	(1) 必要ニ應ジ自ラ環境ニ身ハ 準備スル	
汽機 一	一、燃料室、噴霧機、行	(2) 噴霧機、小直、大、傳、機	
焚火 四	下、八、消火器、用、器、氣	噴霧機、常ニ、準備、置、ス	
次直員ハ特令ニヨリ、準備、為、 急火ニ從事ス	管、口、準備、ス		
記事			
特記スルモノナシ			

一、破内中、於正機開待機ノ状況	特ニ施行シ各機開待機ノ状況	昼間	夜間
機部	陽達命令、兩舷直通集揚船陽達命令、開シ置キ、刺多各面北約一時間以上主機破、復機ノ行ヒ片舷運水機、相対野窗ハ必要、應ニ時々降ヤリ運給ス	云直配置 輪番直ニ從事ノ但シ各直ニ一部便宜ニ代休ス 事、部ハ直直莫ク必要 ニ應ニ便宜從事ス	云直配置 但シ各直ト一部便宜 交代ニ休養セシム
罐部	主塞止弁ハ開鎖補助塞止弁ハ必要、應ニ開閉スルハ常ニ力ヲ要シ、所引維持ニ場合ヨリ操夫テ了リ、必要ノ際ハ特令ヨリ直予、寧概モ受大ス	四直配置 輪番直ニ從事ノ但シ各直ト一部便宜ニ交代休養ス、事、部ハ直直莫ク必要 ト便宜非直直ニ從事ス	四直配置 但シ各直ト一部便宜 交代ニ休養セシム
補助部	夜間、終夜点燈、昼間ハ必要ナキル限リ充電機ハ運轉ス	必要、應ニ事業ニ従事ス、常電機運轉中 一名之ニ従事ス	四直配置 但シ蒸化器ヲ使用ス 二直配置トス
記事	(一) ニコライエフダ、特令中常ニ要令後直ニ十節ニ活動シ得ハ準備ヲ完了シ (二) テカストリ、破内中ノ汽機セハ		

下機関検査手入概要		箇所	検査状況	處置	所要人員	延時数
機部	所部系右進 機部系左進	漏洩ハルニ付キ	水車線附近ニ少量ノ油脂 漏洩スル部ヲ棉拭キ清浄ナリ 保護亜鉛ハ有効ニ腐蝕セ リ其他異常ナリ	缶管内部水突干 掃除ヲ行フ	下士二 卒二	三〇
罐部	一号缶内部 掃除	水車線附近ニ少量ノ油脂 漏洩スル部ヲ棉拭キ清浄ナリ 保護亜鉛ハ有効ニ腐蝕セ リ其他異常ナリ	缶管内部水突干 掃除ヲ行フ	缶管内部水突干 掃除ヲ行フ	下士二 卒二	二〇
補機部	蒸化器	蒸化器ノ浮皮最モ厚キ 部ヲ棉拭キ清浄ナリ 使用時数(三時間)	予備管ノ紫水圧試験 ニ復用使用モ蒸化器 ノ浮皮剝除ニ予備管 トテ保護ス	予備管ノ紫水圧試験 ニ復用使用モ蒸化器 ノ浮皮剝除ニ予備管 トテ保護ス	下士一 卒二	八〇
記	蒸化器内側 噴霧給水噴霧 部金屬弁	吸入側ニ於テ一組三枚吐出 側ニ一枚鉄模リ其他異常 ナリ	鉄模ニ余ハ予備品 ト豫装復旧	鉄模ニ余ハ予備品 ト豫装復旧	下士一 卒一	二〇
	帆海中機関手入殆ト施行セズ	帆海中機関手入殆ト施行セズ	帆海中機関手入殆ト施行セズ	帆海中機関手入殆ト施行セズ	帆海中機関手入殆ト施行セズ	帆海中機関手入殆ト施行セズ
事		居リシヲ以テ充分機関手入施行し得ス	居リシヲ以テ充分機関手入施行し得ス	居リシヲ以テ充分機関手入施行し得ス	居リシヲ以テ充分機関手入施行し得ス	居リシヲ以テ充分機関手入施行し得ス
機部、回轉手入、帆底掃除手入等ハ便宜非自負スル必要ニ依テ実施ス		機部、回轉手入、帆底掃除手入等ハ便宜非自負スル必要ニ依テ実施ス	機部、回轉手入、帆底掃除手入等ハ便宜非自負スル必要ニ依テ実施ス	機部、回轉手入、帆底掃除手入等ハ便宜非自負スル必要ニ依テ実施ス	機部、回轉手入、帆底掃除手入等ハ便宜非自負スル必要ニ依テ実施ス	機部、回轉手入、帆底掃除手入等ハ便宜非自負スル必要ニ依テ実施ス

0384

予自艦以外、於テ施行シタル五事ノ概要也				日付		場所	
事ヲ請求スル概要				使用結果概略		新製機材	
工事ノ概要				新製機材		阿蘇	
工事ヲ施行スル概略				新製機材		阿蘇	
請求年々月日				七〇八一二五		七〇八一二五	
竣工後年月日				七〇八一二六		七〇八一二六	
機部				左舷機ハ軸承至ル 燃料ポンプ用嘴		新製機材	
罐部				第一号機ハ給水即高 部送至嘴		新製機材	
船体部				二番石炭倉上甲板落 シ口蓋板修理付用 緊系		新製機材	
記				前項三項ハ修理工事別ニ使用ト何等支工ナラシテ毀損ノ終使用 ニ軍港ニ入港際修理ヲ請求スル予定ナリニ急ニ特別任務ニ服セ シテノ修理不能ノ終ニテ出港セシモノナリ		阿蘇	
事				七〇八一二六		七〇八一二六	

西村納

0385

リ、防寒装置ノ法及ヒ要シタル材料
未ク施行セズ

又、嚴寒中ニ於テ機關修理及操縦ノ状況

記述ナレ

海

軍

0386

大正七年九月

機關部戰時日誌

第二驅逐隊榎

0387

驅逐艦模行動表

任 務	枚 種 月日	發着 地名	枚 種 月日	原 速 節	運轉 時分	左 右		航 程 哩	行 動 用 燃 料 (噸)					行 動 用 油 (噸)				補 給 水 量	平 均 吃 水	備 考		
						左 航	右 航		運 轉 用			燃 料 噸	炭 火	石 炭	重 油	外 部 油	石 炭				重 油	合 計
									合 計	石 炭	重 油											
對敵哨戒	9-1	全上	9-1	10	0-30	1900	1530	1.2	0.1	0	1.0	1.2	4.0	0	0.5	17	2	19	1.6	9-1 1/2		
對敵哨戒	9-2	全上	9-2	10	0-30	1900	1530	1.2	0	0	0	0	2.6	0.5	2.2	55	10	65	1.0			
對敵行動	9-9	全上	9-9	10	0-26	19330	19290	16.3	0.1	1.3	8.3	1.2	0.9	0.2	1.3	56	3	59	3.6	9-4 1/2		
黑龍江	9-10	全上	9-10	10	6-10	31850	31580	26.5	0.1	1.5	10.1	2.5	0.9	0	1.0	28	3	31	2.1	9-5 3/4		
全上	9-11	全上	9-11	12	0-15	127190	127500	106.1	0.1	3.5	17.6	1.0	2.4	0	1.5	34	4	38	3.5	9-6 7/8		
全上	9-12	全上	9-12	12	0-24	52250	51990	43.4	0.1	2.0	7.9	5.5	3.5	0	1.0	26	5	31	3.1	9-5 3/4		
煙火待令	9-13	全上	9-13	12	0-24	52250	51990	43.4	0.1	2.0	7.9	5.5	3.5	0	1.0	26	5	31	3.1	9-5 3/4		
黑龍江	9-14	全上	9-14	12	0-54	80930	81220	67.5	0.1	0	15.0	4.5	2.0	0	1.0	31	3	34	3.2	9-4 1/4		
全上	9-15	全上	9-15	12	5-14	65650	66860	55.1	0.1	0.5	10.9	15.0	2.0	0	1.0	30	3	33	3.1	9-2		
荒天準備	9-16	全上	9-16	12	0-14	65650	66860	55.1	0.1	0	0	0	3.0	0	0.5	10	3	13	1.0			
回航	9-21	全上	9-21	12	0-28	108750	112230	92.1	0.1	0	20.9	4.5	2.3	0	1.5	46	4	50	4.9	9-3 1/4		
全上	9-22	全上	9-22	12	10-0	118700	121510	100.0	0.1	0	17.1	5.8	1.9	0	2.0	44	5	49	4.4	9-1 1/2		
荒天準備及 歸地變更	9-25	全上	9-25	12	3-36	7210	7400	6.0	0.1	0	3.3	1.8	3.7	0	1.0	25	5	30	3.0			
歸地變更	9-26	全上	9-26	12	0-30	4150	3670	3.2	0.1	0	1.5	2.1	4.5	0	1.0	25	3	28	2.6	9-2 3/4		
全上	9-27	全上	9-27	12	0-15	620	880	0.5	0.1	0	0.5	1.0	2.5	0	1.0	20	2	22	1.0	高崎模付載決21		
合計						618130	626330	517.9	0.8	8.8	113.9	64.1	0.7	17	457	57	514	48.7				
累計						210-11	2573350	215212	367.6	22.3	405.6	77.6	0.7	44.5	870	85	955	112.9				

0388

口、艦逐艦損故障欠損報告 (補修部)		年月日	七、九、一六	七、九、一三。	記事
故障欠損箇所	故障欠損原因	故障欠損程度	最近検査日 七、九、一六	最近検査日 七、九、一三。	記事
故障欠損箇所	故障欠損原因	故障欠損程度	最近検査日 七、九、一六	最近検査日 七、九、一三。	記事
故障欠損箇所	故障欠損原因	故障欠損程度	最近検査日 七、九、一六	最近検査日 七、九、一三。	記事
故障欠損箇所	故障欠損原因	故障欠損程度	最近検査日 七、九、一六	最近検査日 七、九、一三。	記事
故障欠損箇所	故障欠損原因	故障欠損程度	最近検査日 七、九、一六	最近検査日 七、九、一三。	記事
故障欠損箇所	故障欠損原因	故障欠損程度	最近検査日 七、九、一六	最近検査日 七、九、一三。	記事
故障欠損箇所	故障欠損原因	故障欠損程度	最近検査日 七、九、一六	最近検査日 七、九、一三。	記事
故障欠損箇所	故障欠損原因	故障欠損程度	最近検査日 七、九、一六	最近検査日 七、九、一三。	記事
故障欠損箇所	故障欠損原因	故障欠損程度	最近検査日 七、九、一六	最近検査日 七、九、一三。	記事
故障欠損箇所	故障欠損原因	故障欠損程度	最近検査日 七、九、一六	最近検査日 七、九、一三。	記事

0389

驅逐艦損故障欠損報告 (艇体ノ部)

年月日	故障欠損の部	故障欠損の程度	最近検査の行 なれた日	故障欠損の要 素	後工復旧 要との間
七一九一三〇	右舷油の漏れ 合部、舵等漏	構造の欠点	漏れ箇所 五ヶ所 内漏れ箇所 七ヶ所	漏れ箇所 五ヶ所 内漏れ箇所 七ヶ所	
部	一、重油の漏れ 二、七番重油の漏れ 三、五番重油の漏れ 四、其他漏れ	一、重油の漏れ 二、七番重油の漏れ 三、五番重油の漏れ 四、其他漏れ	一、重油の漏れ 二、七番重油の漏れ 三、五番重油の漏れ 四、其他漏れ	一、重油の漏れ 二、七番重油の漏れ 三、五番重油の漏れ 四、其他漏れ	一、重油の漏れ 二、七番重油の漏れ 三、五番重油の漏れ 四、其他漏れ
事	一、重油の漏れ 二、七番重油の漏れ 三、五番重油の漏れ 四、其他漏れ	一、重油の漏れ 二、七番重油の漏れ 三、五番重油の漏れ 四、其他漏れ	一、重油の漏れ 二、七番重油の漏れ 三、五番重油の漏れ 四、其他漏れ	一、重油の漏れ 二、七番重油の漏れ 三、五番重油の漏れ 四、其他漏れ	一、重油の漏れ 二、七番重油の漏れ 三、五番重油の漏れ 四、其他漏れ

0390

八、炭水及行動需品補充状況

燃料

搭載日	種類	数量	搭載地	供給源	搭載要 求時間	従 業 人	所 見
九一〇	二 種 炭	三〇	ミコライ スライ ス	山 越 船	一〇	四	山越船が所見場所より遠く、搭載要 求時間不足なり
九一七	全 右	四〇	ミコライ スライ ス	敷設船	一一	六	敷設船が所見場所より遠く、搭載要 求時間不足なり
九二六	全 右	九〇	カカス リ	運送船	四一 三〇	六 八	運送船が所見場所より遠く、搭載要 求時間不足なり

行動用消耗品

補充状況

平常用消耗品

第一種消耗品

搭載日	搭載地	供給源	品名	数量	単 價	代 價	備 考
七一 九 二 六	カカス リ	兵庫(運送)	機関日誌	五部	〇・六三	三・二	
全	全	全	機関月報	一〇部	〇・二四	二・四	

0391

合計	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合
総代價	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合
	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合	合
	水炭	糸瓦	カ、管	金線紗	試験管	嘉鉄鋼針金	平鐵	指圧器糸	毛糸	方眼紙	撥水紙
	四二〇斤	五好	一五米	五米	四個	一五好	二〇好	一好	二好	二〇枚	四部
	〇・三二〇	一・三〇三	一・〇〇五	一・一九〇	〇・〇四二	一・四九一	〇・三三三	九・七八二	一・〇七〇七	〇・五七七	〇・一七一
	八七・六〇八	一三・四四〇	六・五一五	一五・七五	〇・一六八	二・二三六	七・〇六〇	九・七八二	二・四一四	一・〇三四	〇・六八四
							厚サ 1/16 倍ニテ				

西村納

0392

第二種消耗品

年 月 日	搭載地	供給元	品名	数量	単 價	代 價	備 考
七一九二六	テラネトリ	舞鶴工廠 （常備）	漉布	一。束	一。六一〇	一六一〇。	
全	全	全	三端磁油	三六。五	〇。一五三	五五。八〇	
全	全	全	田棒鐵	五。斤	〇。四〇七	二〇。三五〇	左ノハ一本 其他五本 厚サ二ミリのモノ 其他五ミリのモノ
全	全	全	銅板	一五。斤	一。二五八	一八。八七〇	
全	全	全	保護板	六八。四斤	〇。七九七	五四。五二四	
合計 七一九二六	テラネトリ	佐三、常備 （常備）	二号 揮発油	五一。五		一六四。九一四	運附票、汗、金、付 代價不明

罐水
補充不足

0393

九日以後	普通ノ航行状態ノ下ニ	短時間ニ復旧し得ルモノ外特記スルノ作業ナシ普通ノ状態ニ余リ
自九月六日	直配置(直配置以外外)	直下上ノ卒ミナトシ輪番直配置ノ直配置ノ便更直配置ノ刺リ
自九月六日	直配置(直配置以外外)	直下上ノ卒ミナトシ輪番直配置ノ直配置ノ便更直配置ノ刺リ
自九月六日	直配置(直配置以外外)	直下上ノ卒ミナトシ輪番直配置ノ直配置ノ便更直配置ノ刺リ
自九月六日	直配置(直配置以外外)	直下上ノ卒ミナトシ輪番直配置ノ直配置ノ便更直配置ノ刺リ
自九月六日	直配置(直配置以外外)	直下上ノ卒ミナトシ輪番直配置ノ直配置ノ便更直配置ノ刺リ
自九月六日	直配置(直配置以外外)	直下上ノ卒ミナトシ輪番直配置ノ直配置ノ便更直配置ノ刺リ
自九月六日	直配置(直配置以外外)	直下上ノ卒ミナトシ輪番直配置ノ直配置ノ便更直配置ノ刺リ

西村 納

0398

石泊中ニ於テル機關待機状況

特ニ施行シタル機關特機状況

昼 當 直 夜 間

自九月一日
至九月六日
機關待機中、船交通余補助機關
ハ全開シ置キ、各回宛約(時間)
主機ハ、機關待機中、送水機捕
氣機ハ、必要ニ應ジ、特ニ除キ、進駐ス
要令後、機關待機中、出動シ、待機中、朝
夕約(時間)機關待機中、行フ以外、夜間ハ普通
ノ如ク点燈シ、其他ハ必要ニ應ジ、諸機
關待機中、使用ス

機
械
部
自九月六日
至九月九日
機關待機中、船交通余補助機關
ハ全開シ置キ、各回宛約(時間)
主機ハ、機關待機中、送水機捕
氣機ハ、必要ニ應ジ、特ニ除キ、進駐ス
要令後、機關待機中、出動シ、待機中、朝
夕約(時間)機關待機中、行フ以外、夜間ハ普通
ノ如ク点燈シ、其他ハ必要ニ應ジ、諸機
關待機中、使用ス

以
後
九月九日
機關待機中、船交通余補助機關
ハ全開シ置キ、各回宛約(時間)
主機ハ、機關待機中、送水機捕
氣機ハ、必要ニ應ジ、特ニ除キ、進駐ス
要令後、機關待機中、出動シ、待機中、朝
夕約(時間)機關待機中、行フ以外、夜間ハ普通
ノ如ク点燈シ、其他ハ必要ニ應ジ、諸機
關待機中、使用ス

自九月十日
至九月六日
機關待機中、船交通余補助機關
ハ全開シ置キ、各回宛約(時間)
主機ハ、機關待機中、送水機捕
氣機ハ、必要ニ應ジ、特ニ除キ、進駐ス
要令後、機關待機中、出動シ、待機中、朝
夕約(時間)機關待機中、行フ以外、夜間ハ普通
ノ如ク点燈シ、其他ハ必要ニ應ジ、諸機
關待機中、使用ス

自九月六日
至九月九日
機關待機中、船交通余補助機關
ハ全開シ置キ、各回宛約(時間)
主機ハ、機關待機中、送水機捕
氣機ハ、必要ニ應ジ、特ニ除キ、進駐ス
要令後、機關待機中、出動シ、待機中、朝
夕約(時間)機關待機中、行フ以外、夜間ハ普通
ノ如ク点燈シ、其他ハ必要ニ應ジ、諸機
關待機中、使用ス

九月九日 後	當面艇ノ協合夜間点燈スル以外普通ノ協合ト大差ナシ	全邦事務本部員	當面艇ノ協合夜間点燈スル以外普通ノ協合ト大差ナシ
自九月一日 至九月六日	夜間ノ点燈夜間点燈ノ必要ナシ 至九月六日限リ普通艇運轉スル	必要ニ應ジ事務本部員ニ從事ス 至九月六日限リ普通艇運轉中ノ一名ニ從事ス	四直配員(輪番) 但シ其化器ヲ使用セザル 直配員トナス
神機部 自九月六日 至九月九日	令	必要ニ應ジ事務本部員	令
九月九日 後	當面艇ノ協合夜間点燈スル以外普通ノ協合ト大差ナシ	全邦事務本部員	當面艇ノ協合夜間点燈スル以外普通ノ協合ト大差ナシ
記事	一 九月一日ヨリ九月六日マデハ帝ニ受令後直ニ十節マテ出勤シ得ル準備ヲ完了シ居トリ 二 九月六ヨリ九月九日マデハ受令後一時間以外ニ十節マテ出勤シ得ル準備ヲ完了シ居トリ 三 九月九日以後當面艇ノ協合汽釀スル外特令ナキ限リ普通ノ協合トス		

0400

ト 機関検査手入、概要						
箇所	検査状況	処	置	所要人員	延滞数	
機械部	而後復水益	内部検査、別置水、泥等、 汚濁モ餘リナレ	其代復旧	下士 四二	一〇	
二號罐内	水準線附近、少量、油脂 汚濁、内外部、清浄ナリ 保護黒鉛有効、腐蝕モ其 他良シ	内外部掃除ヲ行ヒ復旧 保護黒鉛、九ヶ新品ト換装ス	下士 四一	三〇		
部掃除	二號罐内	諸如、小毀損、何所	撤貨ニテ修繕ヲ行フ	下士 二一	四〇	
四號罐補助	招合、口面不良	招合セテ行フ	下士 一一	三一		
五號罐補助	招合、口面不良	今 在	下士 一一	六一		
四號罐	蒸氣管、用、内外部、分解検査ス 各部良シ、態ナリ	一部予備品ヲ撤合ニ換装シ、 モリ手入、上格、初シ復旧ス	下士 二二	二六		
二號罐	蒸氣管、用、内外部、分解検査ス 各部良シ、態ナリ	撤除手入、上復旧	下士 三一	五〇		
三號罐	清水、内外部、分解検査ス、別、 異状ナレ	手入、上復旧	下士 一一	三一		
四號罐	浮子、圧潰シ、使用、堪エス 自働給水、加減	浮子、取外シ、修理、着、差、ナリ、内、通、導 着、上、主、機、修理、請求、ロ、予、定	下士 一一	二一		

0401

チ 自艦以外ニ於テ施行スル工事ノ概要
施行スル工事ナシ

海軍

西村 納

0403

[illegible]

右方法、不可能ナリ

同其他防寒材料トシテ横須賀出港ノ際需品庫ヨリ草席
一二ツ止草席繩九ノ早止捲載セシモ一部分他用ニ供セ外
防寒材料ニ使用セズ

(四) 防寒装置兵員ノ一部分ニテ從事シ九月十三日ヲ着手シ九月二
十日ニ終トリ

0405

又 嚴寒中ニ於テ機關整理及操縦ノ状況

本月中ハ未ダ嚴寒ト称スル程ニ非カリシメ機關整理及操縦上
 特記スル事項ナレ一般機械ノ暖機ノ月頭ヨリ月末ニ至リテ宛内地
 ニ於ケル初冬ニ準シテ暖機時間ヲ漸次延長セシト疏水ノ排除
 對シ注意ヲ拂ル外特記スルモノナレ

重油のタンクに漏洩箇所

大正七年九月六日調査本艦重油のタンクに漏洩箇所を左記の如く調査其漏洩程

度は約順次部より如し

一 九番のタンクに敷板を取出し

一 昼夜 三 五

二 十七番のタンクに後部機械室側給水のタンクに前方のタンクに接合

浸 出

三 十七番のタンクに後部機械室側給水のタンクに前方のタンクに外板に接合

一 昼夜 約 〇・一 五

四 七番のタンクに後部機械室側給水のタンクに前方のタンクに接合

右 約 〇・一 五

五 十八番のタンクに後部機械室側給水のタンクに前方のタンクに接合

僅 少

六 十八番のタンクに後部機械室側給水のタンクに前方の外板を取出し接合

二 日所 浸 出

七 十八番のタンクに後部機械室側給水のタンクに前方のタンクに取出し接合

浸 出

八 十八番のタンクに油面計下部の嘴を取出し

〇・一 五

九 十八番のタンクに厨所汚水流管を取出し

〇・一 五

十 十八番のタンクに第八号送風機械台用タンクに取出し接合

〇・一 五

0407

13 39 38 37 36 35 34 33 32 31 30

土十八番、 潜孔口匡取付咄	土十八番、 三維室ト、隔壁部無	土十七番、 鐵板接合也	土十七番、 三維室、隔壁接合也	土十七番、 甲板、 取付釘	土十七番、 ビルダ放射器取付螺釘	土十七番、 油面計、 取付咄	土十七番、 空氣板、 取付螺釘	土十七番、 第七號送風機械、 取付咄	土十七番、 潜孔口匡取付咄	土七番、 底部ト、 外板ト、 接合也	土十五番、 潜孔口匡取付咄	土十五番、 空氣板、 取付咄
僅	二個所 僅	漫	漫	漫	漫	漫	漫	漫	漫	漫	漫	漫
出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出	出

西村納

11 28 27 26 25 24 23 22 21 20 19 18

(五) 五番のタビ 潜孔口匡取付坐	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 十五番のタビ 四雁室ト隔壁接合	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 五番のタビ 底部ト外板ト接合	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 十番のタビ ト四雁室ト 隔壁部接合	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 六番のタビ 潜孔口匡	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 十六番のタビ 潜孔口匡	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 十番のタビ ト放射器取付部接合	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 十六番のタビ 鉄板接合	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 十六番のタビ 油面計取付螺釘	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 十六番のタビ 第六號送風機台用「」取付部接合	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 十六番のタビ 甲板用「」取付接合	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 十六番のタビ 前部四番炭庫ト 隔壁部	二箇所 ? 一 玄	浸 出
(五) 七番のタビ 同	二箇所 ? 一 玄	浸 出

五番	前方五番炭庫内底部	一	立
四番	前方士官室側甲板用、取付部接合	浸	出
三番	同	浸	出
四番	底部士官室側、に接合	浸	出
七番	外舷放射管の出口接合	僅	少
七番	外舷水準下鉄板接合	一層板	立
十六番	外舷鉋	五個所	浸
三番	前方彈藥庫内舷底鉄板接合	七個所	僅
七番	後方彈藥庫内舷底鉄板接合	二個所	僅
五番	七番、外舷鉋	二十本	立
計	六十四個所		
猶未漏洩箇所、見取図に別記示ス如シ			

西村納

0410

大正七年拾月

機關部戰時日誌

第二驅逐隊 榎

0411

1

驅逐艦機 行動表

任 務	拔 錨 月日	發着 地名	拔 錨 月日	常 速 節	運 轉 時 數 時分	主機 給油轉數		航 程 浬	行 動 用 燃 料 (勉)			行 動 用 油 (勉)			補 給 水 量 勉	平 均 吃 水 呎	備 考		
						左 舷	右 舷		運 轉 用 石 炭	運 轉 用 重 油	合 計 (含 機 油 及 潤 滑 油)	點 火 及 埋 火 用 石 炭	點 火 及 埋 火 用 重 油	外 部 油					
														內 部 油				礦 油	白 蠟 油
當直艦		テカシリ															汽機用炭費当日分		
回 航	10-7	アライサント ルスキー	10-7	12	5-29	70.740	70.560	58.9	11.9	0	11.9	4.9	2.1	0	3.0	4.2	3.0	9-3 ³ / ₄	
回 航	10-8	テカシリ	10-8	12	7-28	87.640	74.620	76.7	12.0	2.0	15.4	4.9	3.0	0	3.0	5.4	3.6	9-3	
當直艦		合 上																汽機用炭費三日分	
白根修及船 地更	10-14	合 上	10-14	10	4-30	49.290	41.120	33.9	10.0	0	10.0	3.4	3.0	0	2.0	2.0	2.2	9-2 ¹ / ₂	
回 航	10-14	合 上	10-17	12	65-28	80.780	106.170	67.0	59.9	2.0	76.7	6.1	1.1	0	14.0	11.8	11	9-3 ¹ / ₄	
回 航	10-18	合 上	10-19	10	1-19	4.770	4.320	3.8	2.0	0	2.0	1.9	2.0	0	1.0	1.2	3	荒天 1/2	
回 航	10-19	大湊	10-19	12	5-50	78.350	77.060	65.5	5.5	2.0	8.9	7.3	1.5	0	1.0	2.0	2	8-11 ¹ / ₄	
回 航	10-20	大湊	10-21	12	23-15	34.050	34.030	28.3	23.3	7.5	36.1	7.8	2.2	0	5.7	6.5	9	風波 1/2 炎港=避泊	
回 航	10-21	舞鶴	10-22	14	17-5	30.820	33.870	25.5	25.0	7.5	41.2	6.2	0.5	0	5.3	7.9	7	8-11	
回 航	10-28	小湊	10-28	12	6-13	23.650	23.660	60.9	7.3	4.3	14.6	4.2	2.7	0.2	5.0	2.4	4	9-1 ¹ / ₂	
回 航	10-29	敦賀	10-29	12	6-13	98.180	97.980	81.8	4.7	14.7	29.3	2.8	3.7	0.3	6.0	3.2	7	9-6 ¹ / ₄	
回 航	10-30	上尾	10-30	20	9-54	22.050	22.530	181.9	7.3	17.2	38.5	5.7	0.7	0.3	8.0	6.5	3	9-4 ¹ / ₄	
回 航	10-31	舞鶴	11-1	12	16-55	26.950	26.530	207.1	21.5	18.5	53.0	3.9	3.5	1.5	6.0	4.0	5	9-1 ¹ / ₂	
合計																			
累計																			

0412

海軍

年
月
日

故障欠損個所

故障及損壞困

故障損、程度

最近檢查可符
狀況年同月

慶置
概要

特闢

七下九

右并主機補人力
回動裝四馬力
取什台

主棧棧火煖棧面
勒中折損

一、折標使用地。

巡航のタビト接
織巡航のタビト回
具置ヲ使ナリ
檢セル取付台ナ
敷修補請込

能事 + 心

西村綱

海軍

驅逐艦復故障欠損報告(電機部)

年月日	故障欠損箇所	故障欠損原因	故障欠損程度	最近検査日	処置概要	竣工復旧日
七一九一五	発電機発電機	運動中絶縁一部不良トリ	発電機片隣機と三ヶ所裏面短絡		機軸載り手滑り 電機台交換 不良部交換 修理完了	下士 三 一
(航海中)	発電機	使用絶縁材料不良	火花甚多トリ使用不可能トル			六 一 〇

記事トレ

西村 納

0414

八炭水及行動用品其他補充ノ状況

燃料

搭載日	種類	数量	搭載地	供給廠	搭載時間	従業員	所
一〇一四	二種煤炭	六〇	大湊	高送船	一四五	六五	見
一〇一〇	全右	六〇	大湊	要港部	一〇〇	六三	三〇船積知船名一隻より手送り搭載ス
一〇一三	全右	六〇	舞鶴	需品庫	一四〇	五一	三〇船積知船二隻より手送り搭載ス
一〇一三	重油	一〇	全右	全右	四一〇	八	五〇船積知船二隻より手送り搭載ス
七〇一三	舞鶴	需品庫	一星秘油	三六	〇四六	一六八	五〇船積知船二隻より手送り搭載ス
七〇一三	全	三龍秘油	五〇	〇一五	七六五	七六五	五〇船積知船二隻より手送り搭載ス
七〇一三	全	能屑	七五	〇四七	三四七	三四七	五〇船積知船二隻より手送り搭載ス
合計	総代價					一七、七三三	

行動用消耗品

記 事

0415

平常用消耗品									
第一種消耗品									
換算月	拾載地	供給	品名	数量	單價	代價	記	事	
七、八、三	舞鵬	舞鵬	紙	二枚	〇、二六	〇、四一三			
令	令	令	板衛帶	一枚	九、五三三	九、五三三			
令	令	令	石解枝橋	五米	四、九七三	二九、八六五			
令	令	令	常乙	方通	〇、二二〇		定数		
令	令	令	初程程表	方通	〇、〇八六		前面受		
令	令	令	記	四通					
令	令	令	初程曲線	方通	〇、二二〇				
令	令	令	初程曲線	方通	〇、二二〇				
令	令	令	運轉標	二通	二、〇四三				
合計	總代價					四、四一四			

第二種消耗品

西村納

0416

一〇、三六	一〇、三三	一〇、三〇	一〇、一四	搭載月日	種類	数量	搭載地	供給源	品名	数量	単價	代價	記
全	全	全	飲用水	飲料水	五ト	五ト	高崎	高崎	品名	数量	単價	代價	記
五ト	六ト	五ト	五ト	五ト	五ト	五ト	五ト	五ト	五ト	五ト	五ト	五ト	五ト
全	舞鶴	大湊	大湊	大湊	大湊	大湊	大湊	大湊	大湊	大湊	大湊	大湊	大湊
全	港務部	港務部	港務部	港務部	港務部	港務部	港務部	港務部	港務部	港務部	港務部	港務部	港務部
〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇	〇、一三〇
四	四	五	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四	四
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

補充セズ

罐水

飲料水、雑用水

所見

海軍

西村絹

水哨戒又ハ警戒航行中機關操作ノ方法

一 本月上旬カ、デカストリ山ニ在泊シ一面樺太アレキケンドルフスキ山ニ面
航セルミニテ對敵警戒航行ト称スベキ場合ナレ

二 十月十四日ヲ、カストリ山出港十月十七日函館歸着間航海ニ於テハ
警戒ヲ實施セズ

三 十月十七日以後ハ内地ニ於ケル普通ノ航海ナリ

碇泊中ニ於ケル機附待機ノ状況			
特ニ施行シタル機附待機ノ状況	昼間	直	夜間
自十月一日 至十月十四日 當直艦ノ場合夜間点燈スル以外普通ノ場合大差ナシ	全部事務部員	如シ	當直艦点燈ノ場合輪番當直レ其他ノ場合ノ普通ノ場合ノ如シ
十月十四日以後 内地ニ於ケル普通ノ場合	全部事務部員	内地ニ於ケル普通ノ場合ノ如ク當直セズ	當直艦点燈ノ場合輪番當直レ其他ノ場合ノ普通ノ場合ノ如シ
自十月十四日 至十月十四日 當直艦ノ場合夜間点燈スル以外普通ノ場合大差ナシ	令	右	當直艦点燈ノ場合輪番當直レ其他ノ場合ノ普通ノ場合ノ如シ
十月十四日以後 内地ニ於ケル普通ノ場合	令	右	當直艦点燈ノ場合輪番當直レ其他ノ場合ノ普通ノ場合ノ如シ
自十月一日 至十月十四日 當直艦ノ場合夜間点燈スル以外普通ノ場合大差ナシ	令	右	當直艦点燈ノ場合輪番當直レ其他ノ場合ノ普通ノ場合ノ如シ
十月十四日以後 内地ニ於ケル普通ノ場合	令	右	當直艦点燈ノ場合輪番當直レ其他ノ場合ノ普通ノ場合ノ如シ

能事
自十月十四日以後ハ内地上ノ発十月十七日函館ニ帰着ス
自十月十四日以後ハ内地ニ於ケル普通ノ場合ナリ

西村納

洋
目

0421

機械 關検査手入ノ概要					
箇所	検査ノ状況	處	置	要人員	延特数
機械部	両舷抽気唧 皆滑合 消防ポンプ唧 皆機械	分解検査ス 良態 手入ノ上復旧 手入ノ上復旧	下士 四二 下士 二一	二 一 二 一	二 一 二 一
鑪部	二號重油噴燃 用唧皆機械	分解検査ス 各部異常ナシ 良態 手入ノ上復旧	下士 三一 下士 三一	一 三 一 三	一 三 一 三
電機部	発電機 発電子廻轉 ルモ、裏面トノ絶縁不良ト	運轉中、度々白粉片ヲ碎接セ ルモ、裏面トノ絶縁不良ト 修理請求シテ答	下士 三一 下士 三一	一 三 一 三	一 三 一 三
補機部	蒸化器發生器 氣蒸溜器 ル排出弁	弁棒螺糸自然磨滅トシ、弁 係ヲ磨耗部約三寸ニ新クニ修 リ、リヤリ應急装置ヲ付シ、保 用ス工費ニ修理ヲ請求セリ	下士 三一 下士 三一	一 三 一 三	一 三 一 三
記事	機械、面転手入、艇底掃除各部保存手入等ハ常ニ實施セリ				

0422

三合棒等、綴帶増入、取換、漏洩ヲ生キ、毎施行セリ
 三合類、摺合セ等、必要ニ應ジ、増資施セリ

西村納

0423

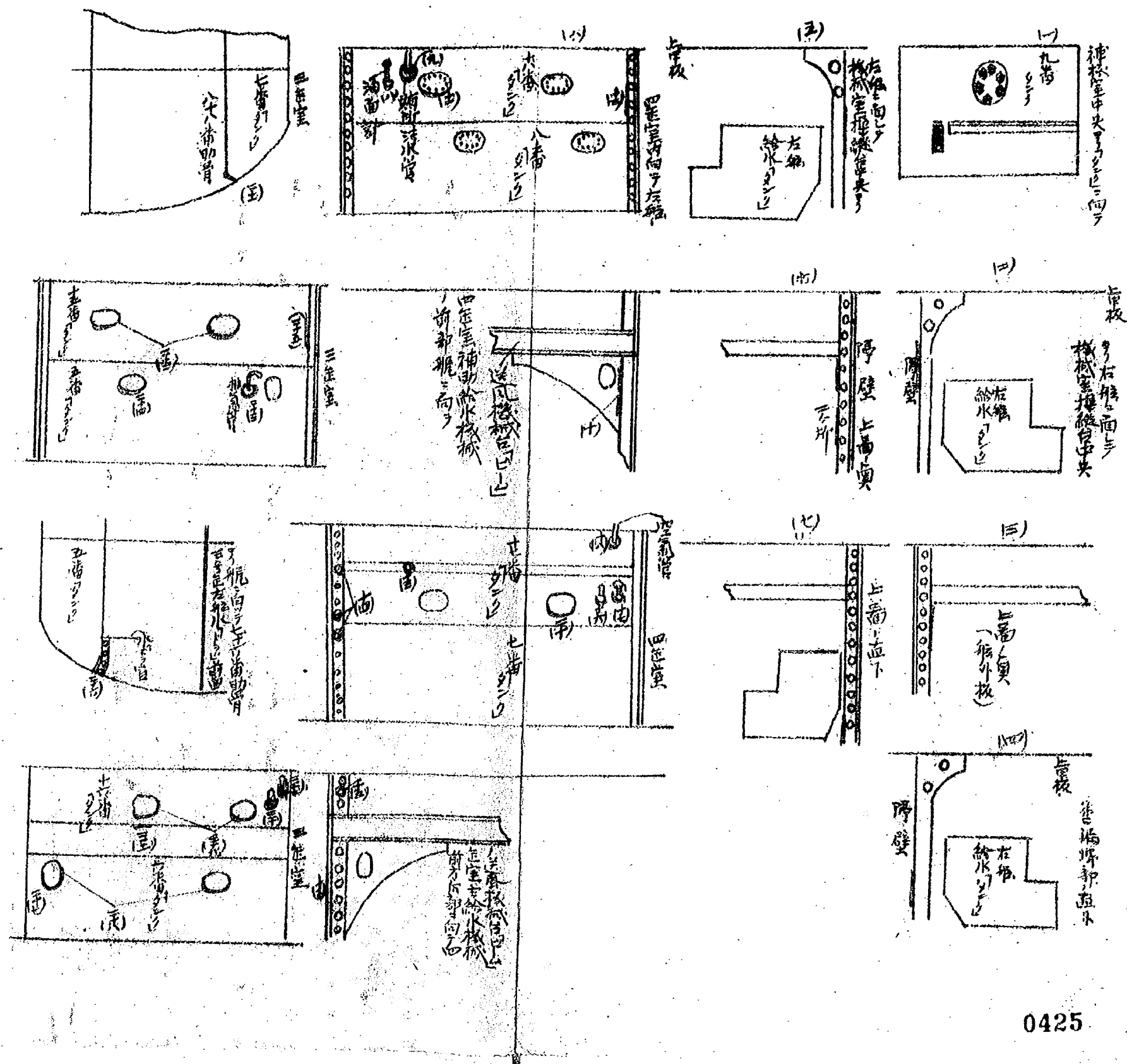
予自艦以外に於て施行せる工事ノ概要
施行せる工事ナレ

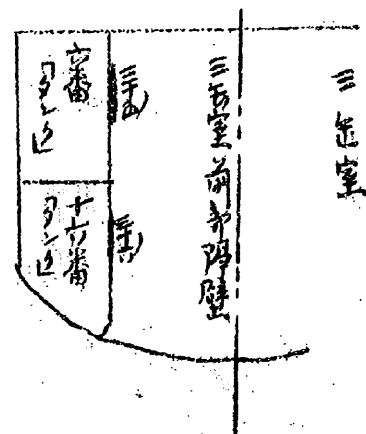
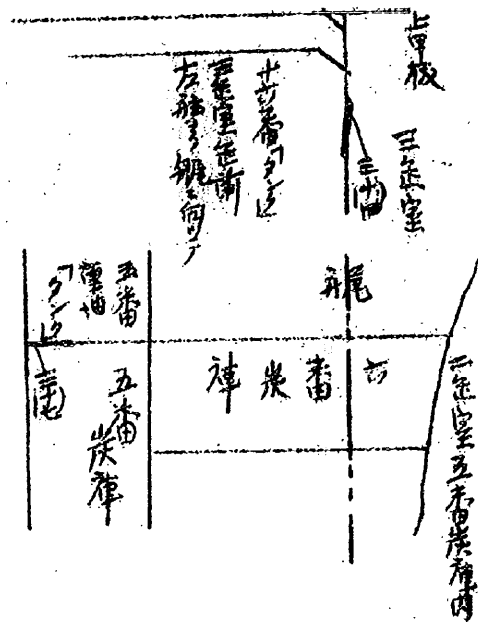
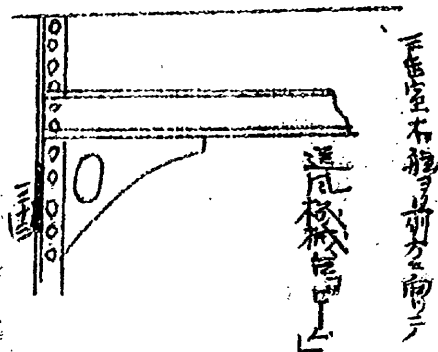
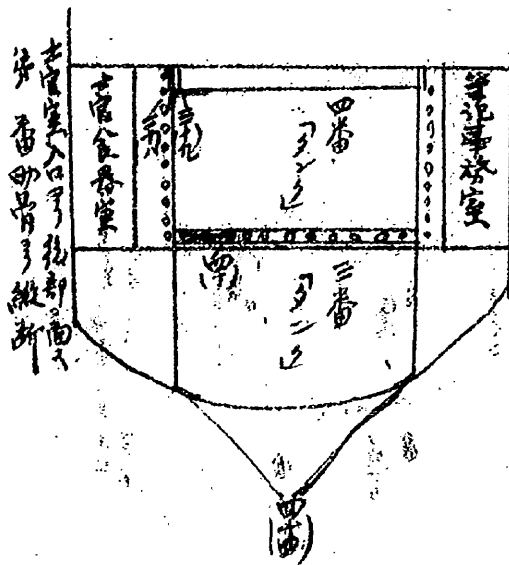
リ、防寒装置ノ方法及之ニ要せる材料

九月中ニ蒸氣管一部ニ防寒装置ヲ施セル外、本月ニ於テ實施ス

又、嚴寒中ニ於テ機關整理及掃蕩状況

本月上旬「デカストリ」在泊及樺太「アレキサンドルフスキ」面航ニ於テハ内
地ノ冬季ニ準ジテ機械ノ暖機時間ヲ便宜延長セシ以外、特記スル事項
ナカリキ。十月十四日「デカストリ」出港以後ニ於テハ大氣温度漸次
上昇シ、来リ十月十七日函館歸着以後ハ特記スル事項ナレ





運送部
三番
四番
五番
六番
七番
八番
九番
十番
十一番
十二番
十三番
十四番
十五番
十六番
十七番
十八番
十九番
二十番
二十一番
二十二番
二十三番
二十四番
二十五番
二十六番
二十七番
二十八番
二十九番
三十番
三十一番
三十二番
三十三番
三十四番
三十五番
三十六番
三十七番
三十八番
三十九番
四十番
四十一番
四十二番
四十三番
四十四番
四十五番
四十六番
四十七番
四十八番
四十九番
五十番
五十一番
五十二番
五十三番
五十四番
五十五番
五十六番
五十七番
五十八番
五十九番
六十番
六十一番
六十二番
六十三番
六十四番
六十五番
六十六番
六十七番
六十八番
六十九番
七十番
七十一番
七十二番
七十三番
七十四番
七十五番
七十六番
七十七番
七十八番
七十九番
八十番
八十一番
八十二番
八十三番
八十四番
八十五番
八十六番
八十七番
八十八番
八十九番
九十番
九十一番
九十二番
九十三番
九十四番
九十五番
九十六番
九十七番
九十八番
九十九番
一百番